

くらしの身近なところから

ゼロカーボン を

目指してみませんか!?



突然の大雨や季節外れの暑さ・寒さなど異常気象が近年多くみられており、CO²などの温室効果ガスによる地球温暖化が主な原因とされています。

地球温暖化が進み「気候危機」となり、食糧不足や生態系の破壊などにならないよう、私たちのくらしの中でできることを実施してみましょう。

●ゼロカーボンって何?

CO²などの温室効果ガスの排出量から森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な排出量をゼロにすることです。

日本では、国内温室効果ガス排出量を減らし、2050年までにゼロカーボンを目指しています。

剣淵町についても、令和4年6月21日に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素に向け進めています。



“剣淵町ゼロカーボンシティ宣言”

世界的に気候変動問題がクローズアップするなかで、特に21世紀に入り、日本国をはじめ世界の国々・地域で、猛暑や大雨などの極端な気象が多く発生し、人々の日常生活を脅かす事態となり、気候危機への対策は喫緊の重要課題であります。

2015年(平成27年)のパリ協定で合意の「世界の平均気温上昇を、産業革命以前と比べて2度より十分低く保ち、1.5度に抑える」という目標が定められたところであります。

日本国においても、2020年(令和2年)10月に「2050年までに、温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざすこと」を表明されました。

本町においては、主要な公共施設の照明灯や全町区域の街路灯・防犯灯のLED化対策を積極的に進めてまいりましたが、未来を担うこれからの子どもたち、そしてこの先の世代に引き継ぐ責務から、これまで受け継がれてきた恵み豊かな自然を世界的な規模で保全し、きれいな地球を守り続けたい、その実現に向けて町民・事業者・行政が一体となり、2050年までに、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言いたします。

令和4年6月21日
剣淵町長 早坂 純夫

●ゼロカーボンに向けて私たちができることって何だろう?

日本のCO²排出量の約6割が私たちの衣・食・住・移動を中心とする「ライフスタイル」に関係しています。ガソリン車で10km走行するとCO²はおよそ2kg排出しているといわれ、それを1日で吸収するには杉の木約52本が必要です。

私たちのくらしの工夫からエネルギーの無駄をなくすことで、CO²削減につなげ、ゼロカーボンに向けた取り組みを実践してみましょう。

<p>エネルギーを節約・転換しよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 再エネ電気への切り替え 2 クールビズ・ウォームビズ 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る 7 消費エネルギーの見える化 	<p>交通・移動手段で環境配慮ができます。</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 15 スマートムーブ 16 ゼロカーボン・ドライブ 	<p>食品・食材の無駄をなくそう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 17 食事を食べ残さない 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活 20 自宅でコンポスト
<p>衣類・ファッションでもサステナブルを!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 21 今持っている服を長く大切に着る 22 長く着られる服をじっくり選ぶ 23 環境に配慮した服を選ぶ 	<p>家庭ゴミを減らす工夫をしよう!</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や補修をする 26 フリマ・シェアリング 27 ごみの分別処理 	<p>買い物や投資でも環境配慮ができます。</p> <p>ACTION</p> <ol style="list-style-type: none"> 28 脱炭素型の製品・サービスの選択 29 個人のESG投資

※このほかの取り組みは環境省のホームページを確認してください。